

八代市立  
高田あけぼの保育園

KOUDA AKEBONO  
NURSERY SCHOOL

イ草で知られる農業地帯の中に  
工業と商業が共存する熊本第二の都市、八代市。  
地域とのつながりも残る市街地に  
住民との共同作業で造られたのがこの保育園。  
光があふれ、風が通る木造平屋建ての建物は、  
構造的なオープン性はもちろん、  
その建築プロセスにおいても  
徹底的に地域との共生を追求した点で  
極めてユニークな存在となった。  
保母さんや園児たち、  
地域の人々の声を元にしたデザイン、  
子どもたちや市民の手によるペインティング。  
中庭を配し、壁をなくした広々とした空間が  
コミュニティにとけ込む園の姿を物語る。  
また、屋上のソーラーパネルや  
雨水の空調への利用など、



くまもとアートポリス  
kumamoto artpolis

熊本県 くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木部建築課  
〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1  
☎ 096-383-1111 (6215)

自然環境をも構成要素として取り込み、  
さまざまな角度から  
この土地との融合を試みている。



## 八代市立 高田あけぼの保育園

### ● 建築概要

扱いやすい建物を目指している。同じ天井高の大きなワンルームを、中庭、建具、家具などを用いて遊戯室、保育室などの諸室に分節している。そうすることで、将来変化するであろう保育形態や将来的な建物の用途転用に対応できるようになっている。木製建具は桟と柵との間にパネルを入れられるようにし、必要に応じ、壁的な状態をつくることができる。

屋根構造は角材と合板による斜交格子梁、水平力はスチールのパンチングプレート(掲示板などにも用いられる)で負担している。設備面では、夏は井戸水を利用し、冬は太陽熱集熱器により暖められた温水を用いたシステムとなっている。

### ● 設計者

#### みかんぐみ

1995年 加茂紀和子、熊倉洋介、曾我部昌史、竹内昌義、マニエル・タルディッツのパートナーシップによる建築設計事務所設立



加茂 紀和子 (かも きわこ)

1962年 福岡県生まれ  
1987年 東京工業大学大学院修士課程修了後、久米設計  
1992年 マニエル・タルディッツとセラヴィアソシエイツ設立



熊倉 洋介 (くまくら ようすけ)

1962年 新潟県生まれ  
1993年 東京都立大学大学院博士課程修了  
1994年 熊倉洋介建築設計事務所設立



曾我部 昌史 (そがべ まさし)

1962年 福岡県生まれ  
1988年 東京工業大学大学院博士課程修了  
1988年~伊東豊雄建築設計事務所  
1994年 ソガベアトリエ設立



竹内 昌義 (たけうち まさよし)

1962年 神奈川県生まれ  
1989年 東京工業大学大学院修士課程修了  
1989年~ワークステーション  
1991年 竹内昌義アトリエ設立



Manuel Tardits (マニエル タルディッツ)

1959年 ハリ生まれ  
1984年 ユニテ・ベタゴジック卒業  
1988年 東京大学大学院修士課程修了  
1992年 加茂紀和子とセラヴィアソシエイツ設立

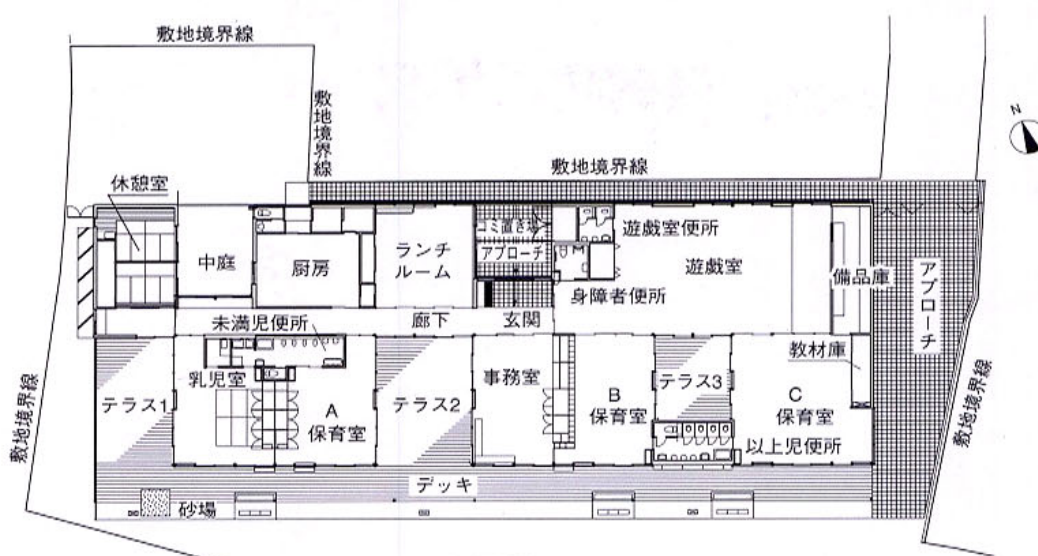
### ● 主な作品

NHK長野放送会館、Shibuya-AX、KH-2、植柳新町地域学習センター

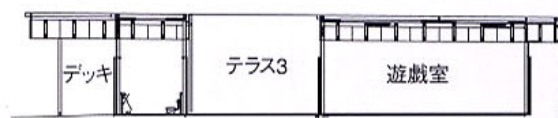
1995年 NHK長野放送会館建築設計競技 最優秀賞

2000年 第5回くまもとアートポリス推進賞選賞

2001年 JCDデザイン2001 優秀賞



平面図



断面図

### ● 建築データ

名称/八代市立高田あけぼの保育園

所在地/八代市本野町522番地

主要用途/保育園

事業主体/八代市

設計者/みかんぐみ

施工者 建築/和久田建設株式会社

電気/小林・久武建設工事共同企業体

機械/金剛・旭建設工事共同企業体

ソーラー/金剛・旭建設工事共同企業体

警備/株式会社キューネット

外構/和久田建設株式会社

遊具/ゲルチョップアートワークス

敷地面積/3,609㎡

建築面積/808.10㎡

延面積/663.47㎡

階数/地上1階

構造/木造

外部仕上 屋根/アルミメッキ銅板

外壁/不燃処理パイン無垢板材

施工期間/2000年8月~2001年3月

総工事費/200百万円